

藤沢記者クラブ各位

藤沢市2026年4月1日付 定期人事異動について**1 今回の人事異動の概要**

今回の人事異動は、新たな総合指針や改定した人材育成基本方針のもと、「市民サービスの向上」と「郷土愛あふれる藤沢の実現」のため、職員一人ひとりが、市民から信頼され、藤沢の未来や郷土愛を市民と共に創っていただけるよう適材適所の人事配置を行いました。

2 人事異動者数

全体の人事異動者は、915人(市長部局599人、教育委員会61人、行政委員会17人、消防局238人)、部長級は15人、所属長(参事級・課長級)は54人。新採用は99人。(医療職は除く)

3 今回の異動の特徴**(1) 重要施策の推進に向けた組織力の強化**

喫緊の課題であるDXの取組や共創、ゼロカーボンに関する取組を進めるとともに、課題に対して柔軟かつ創造的に対応できる組織体制を築き、ウェルビーイングな地域社会の実現に向けた取組を推進します。

(2) 女性職員の管理職への登用

女性管理職の割合は、25.8%(前年度比0.5ポイント増)になります。

なお、行政職給料表(1)において、新たに部長級1人、所長級3人、課長級6人、課長補佐級11人、計21人の女性職員を登用します。

(3) 若手職員の積極的な登用

人材育成を推進するとともに、組織の活性化を図るため、管理職のほか各職位において若手職員の登用を積極的に行います。

(4) 他団体との人事交流**・国、県等との人事交流**

(派遣)総務省1人、厚生労働省1人、国土交通省1人、総務省消防庁2人、
東京消防庁1人、神奈川県2人、神奈川県後期高齢者医療広域連合2人、
神奈川県国民健康保険団体連合会1人、横浜市消防局1人

(受入)神奈川県2人 神奈川県国民健康保険団体連合会1人

・近隣自治体との人事交流

(受入)茅ヶ崎市1人、寒川町1人

(5) 民間企業への職員派遣

民間企業における経営感覚やコスト意識等を習得し、本市の業務を活性化することを目的に民間企業へ通年派遣します。

(株)電通1人、(株)横浜銀行1人、アイパークインスティテュート(株)1人

以上